



“Catalog Pocket”
でも配信しています



あげまつ



上松保育園お楽しみ会

2月7日(金)に上松保育園でお楽しみ会が行われました。
年少さんは合唱と合奏、年中さんと年長さんは劇の発表
を行い、園児たちは一生懸命練習した成果を披露しました。
園児たちの元気いっぱいの発表が終わるたびに、
見に来てくれた保護者や先生、お友達からは、
沢山の拍手が送られました。(関連記事 3 P)

令和 7 年 2 月末現在
世帯 1,973 戸(± 0)
男 1,919 人(± 5)
女 1,996 人(± 3)
計 3,915 人(± 8)



美林ちゃん



太郎ちゃん

KISOKURASHI 交流会

20年に一度の祭り「御神木祭」って何？

i n 上松町

2月16日(日)にKINOTOCOで、木曽広域が主催する交流会「KISOKURASHI 交流会」が、上松町の「御神木祭」をテーマにして開催されました。

これは1月22日に天皇陛下がお定めになる御治定^{ごじじょう}により、木曽谷国有林が伊勢神宮式年遷宮^{みそまはじめさい}の御用材を伐り出す御杣山に決まったことから、御杣始祭やなぜ上松で用材を伐り出すのかを知ってもらうために開催されたものです。

講師として、上松町産業観光課の横井課長、木曽官材市売協同組合の原田専務が登壇され、それぞれ「木曽と伊勢のつながり、御神木祭の概要」「木曽から奉送するひのき材の用途や長所」などについて、時に笑いを交えて語りました。

木曽郡の内外から17名の方が参加され、「木曽に移住したが、このような大きな催しや大切な文化が残っていることを、初めて知った」、「20年に一度、日本人が森に思いを巡らす素晴らしい機会だと思う」と、感想を聞かせてくれました。

木曽奉賛会ホームページ URL : <https://www.kiso-goshinboku2025.com/>



上松技術専門校 ひのきの里の技能祭

上松技術専門校の訓練生が製作した、家具や木工品の展示即売会「ひのきの里の技能祭」が、3月7日(金)と8日(土)の2日間開催されました。

今回の技能祭では、会場に訓練生が1年間学んだ技術の成果として製作したテーブルや収納棚、漆塗りの食器等、様々な木工製品約300点が展示されました。

初日は展示品の見学と、訓練生による製品のプレゼンテーションが行われました。訓練生の皆さんは、自分が作り上げた製品に対する思いや、工夫した点、苦労した点を発表しました。

2日目の抽選即売会では県外からも多くの方が訪れ、制作した訓練生に工夫した点や苦労話を聞くことも楽しみながら、創意工夫がされた展示品を見て回り、欲しいと思った製品に投票をしました。抽選結果が発表されると、お目当ての製品が買えた人達は、嬉しそうな顔をして持ち帰りました。

また、木工体験コーナーとしてかんなを使った箸づくり体験コーナーが用意された他、木工用の道具や長野県産の木材の販売、屋台やキッチンカーの出店もありました。

訓練生が製作した作品の一部や、訓練の様子は、長野県ホームページの上松技術専門校ページからご覧になれます。

URL : <https://www.pref.nagano.lg.jp/agemagisen/index.html>



上松保育園お楽しみ会

二月七日（金）に上松保育園でお楽しみ会が行われました。

園児たちは日頃楽しんでいる歌や劇遊びを、保護者やお友だちに見てもらいました。

年少さんは音楽あそび「雪だるまのチャチャチャ」、「おもちゃのチャチャチャ」と歌、「虹」年中さんは劇あそび「ぼんたの自動販売機」、年長さんは劇「めつきらもつきらどおんどん」を発表しました。

どの組の発表も元氣いっぱい大きな声で歌ったりセリフを言うことができ、発表を見ていた保護者や先生、お友だちから沢山の拍手が送られました。

楽しい歌と劇を披露した最後には、園児たちと保護者の方たちが一緒になって「さんぽ」を歌いました。



悠久の森設定十周年記念シンポジウム

二月二十日（木）、ひのきの里総合文化センターにおいて中部森林管理局主催の『木曽悠久の森設定十周年シンポジウム』が開催されました。



「木曽悠久の森」は、貴重な温帯性針葉樹林帯で構成する上松町を中心とした木曽国有林と岐阜県中津川市の裏木曽国有林を悠久の森として設置して後世に残そうと中部森林管理局が進めている取組で、平成二十五年に設定されてから十周年を迎えました。

会場となったひのきの里総合文化センターには多くの木材、林業関係者の方々が参加し、日本自然保護協会の横山隆一参与からは温帯性針葉樹林帯の貴重性や保護について、伊勢神宮松永彦治営林部長からは伊勢神宮式年遷宮と木曽ひのきの繋がりについてご講演をされました。

基調講演後は、悠久の森管理委員会のメンバーを中心とした五人の方によるパネルディスカッションが行われ、気候変動等様々な問題がある中で森の将来像や木の文化継承について意見交換をし、後世に目指す姿、取り組みの意義を再確認し決意するシンポジウムとなりました。

上松町公式 LINE



上松町では「上松町公式 LINE アカウント」を運用しています。イベント開催情報や町からのお知らせを LINE で見ることができ、バスの時刻表やごみの出し方なども簡単に調べることができますので、是非友だち登録をお願いします。

利用方法

1. 右のQRコードをスキャンするか、LINEで「上松町公式LINEアカウント」を検索して友だち追加をしてください。



2. 友だち追加をしたら右の画面が出ますので、受信設定からお住いの地区や欲しい情報について設定を行ってください。



公式LINEで出来る事

- ・「イベント」や「道路規制」など、欲しい情報の通知が届きます。
- ・バスの時刻表やごみの出し方を簡単に調べられます。
- ・明日が何ごみの収集日かをお知らせします。
- ・町HPの様々なページに簡単にアクセスできます。



※詳しい内容は、上松町 HP でご確認ください。

URL : <http://www.town.agematsu.nagano.jp/aboutus/koho/LINE/agematsuline.html>

お問い合わせ先：上松町危機管理課 危機管理係 電話 52-4902

地域おこし 協力隊だより

地域おこし協力隊として活動している四名が今年度末をもって退任します。

地域おこし協力隊とは、総務省が行っている事業で、都市部から地域へ移住し、地域活性化にかかる支援など地域協力活動に従事することで、地域への定住・定着を促進し、地域力の維持や強化を図る制度です。

上松町では、現在六名の隊員が活動しており、宮原隊員・赤澤隊員はアウトドアサウナを用いた観光振興、葉山隊員・村上隊員は木工・木育振興の分野でご活躍いただきました。

【宮原 未来 隊員】

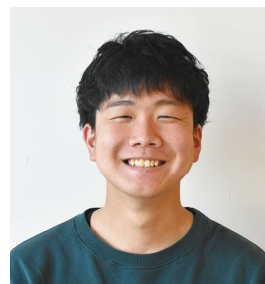


協力隊生活の五年間が、いよいよ終わろうとしています。木工部として入隊し、その後サウナ事業へとミッションを変更させていただくなど、たくさんが無茶を実現させてく

ださった上松町役場には大変感謝しています。赤沢美林でのサウナという無謀とも思える挑戦にも関わらず、応援してくださった皆さん、友人知人を誘って何度もサウナを体験しに来てくださった皆さん、ありがとうございます。

卒隊後も引き続き赤沢でのサウナ事業を頑張っていく所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします！

【村上 直也 隊員】



こんにちは、村上直也です。兵庫県神戸市で十四年程育ち、大学時代は京都に四年間、そして上松町には技術専門校時代も含め五年間。人生で二番目に長く住んでいます。

それとも「五年も」でしょうか。私はこの五年間で周囲のモノやコトのデザインに向けた感覚が全く生まれ変わりました。私の作品や活動を「都会出身だから」「大学でデザインやつてたから」と勘違いされることが多かったのですが、実際それらはこの上松町で一から勉強してつくりあげたものです。

協力隊の活動を通して、出会った課題に自分なりに研究を重ねていく度に、五年前とは全く違う感性が出来上がりました。

「たかが五年」でした。ありがとうございました。また「たかが五年」ならたった五年で、「五年も」なら五年もかかってしまったということですが、それだけの期間で人の視座はこんなにも変わるのかと実感しています。それが形成されたのは、なんでも揃う都会の神戸でも、創造的な学生が集まる京都でもなく、この上松町だったということです。活動を見守り、応援してくださり、ありがとうございました。

【葉山 修一郎 隊員】



令和三年度より上松町の協力隊として木工部に所属し、木に関わる活動をさせていたできました。色々な樹種がある中でとりわけひのきと向き合う時間を多く持つこととな

りました。

それはこの町の文化と歴史に誇りを持つ上松町民の皆さんと関わりから、ひのきが上松にとってのアイデンティティだと強く感じたからです。「建築材としては最高峰のひのきをそれ以外の分野で活用できないか」という自らへの問いかけから端を発し、私なりにひねり出した解答が三つあります。

AGEMATSU SAUNA CLUBで使ってもらっているサウナ

ベンチ。上松町庁舎に置いていただいているスツール。

上松町の新成人の方に贈らせていただいたトースト皿です。これらを生み出したのは上松で過ごす中で地域性を大切にすることの重要性を学ばせていただいたからだと感じています。

上松町の皆様、私達の活動を大きな心で見守り支えていただき、ありがとうございました。

【赤澤 友介 隊員】



私事ではありますが、三月末をもって上松町を離れることになりました。一年間という短い期間ではございましたが、皆様には大変お世話にな

りありがとうございました。活動をサポートしていただいた皆様、地域の輪に受け入れてくださった皆様、イベントに足を運んでいただいた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

これからも皆様にとって上松サウナクラブが癒しの場になってくれれば嬉しく思います！

はじまります! 国勢調査

インターネット回答で
かんたん便利に!



調査期日
2025年
10月1日

日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした、最も重要な統計調査です!

5年に一度、全員参加の統計調査



国勢調査 2025



国勢調査2025キャンペーンサイト

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

国勢調査2025

検索



総務省統計局・都道府県・市区町村

木曽路氷雪の灯祭り in 上松・寝覚

二月九日（日）に「木曽路氷雪の灯祭り in 上松・寝覚」が寝覚の床周辺で開催されました。

オープニングでは、上松檜流太鼓伝承保存会の方達による太鼓の演奏が披露され、寒さに負けない熱い演奏で会場を盛り上げてくれました。

今年はねざめ亭と臨川寺だけでなく、中山道の面影を残す立場茶

屋付近まで、竹灯籠とアイスキャンドルが飾られ、臨川寺境内では中山道と浦島伝説をテーマにしたプロジェクションマッピングが上映されました。

訪れた人たちは雪と暖かな灯で彩られた幻想的な風景と、臨川寺本堂に映し出された音と光の演出を楽しみました。

また、ねざめ亭周辺では上松檜流太鼓伝承保存会による太鼓の演奏や、ジビエ汁のふるまい、キーホルダー・キャンドルづくり、狩猟体験シミュレーターなども行われ、多くの人で賑わいました。



健康増進センターリレートーク・・・健康とデータ 105

美林ちゃん（美）



15.6%



太郎ちゃん（太）

太：最近、体が疲れやすくて・・・、体力が落ちているかも・・・。

美：普段から運動をしている？

太：いや、毎日忙しくて運動する時間がないんだよ。

美：そうなのね、でも運動すると、筋力がついて、疲れにくい体になるし、気分もスッキリするよ♪

太：ストレス解消もできそうだね。まずは、歩くことからやってみようかな？

美：上松町でも年に2回ウォーキングアプライイベントを開催しているから、参加してみると楽しく歩けるかもね！

太：ウォーキングアプライイベント？試しにやってみようかな！

今回の15.6%は、上松町の50歳代の運動習慣のある人の割合（令和6年度住民アンケートの結果より）になります。運動習慣のある人において、全世代に比べると働き盛り世代（30～50代）では、特に少ないです。また運動しない理由として多くの方が「時間がない」と回答されていました。

運動は美林ちゃんのお話のように良い効果がたくさんあります。

上松町のウォーキングアプライなど活用して、運動が習慣化するといいですね！

詳しくは次のページの住民アンケートの結果報告をご覧ください。

保健衛生係（52-2825）

運動に関するアンケート調査の結果

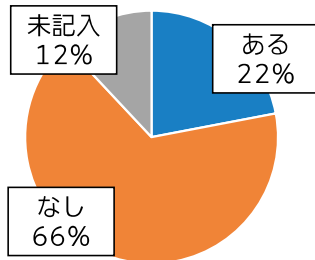
検診アンケートと同時実施した運動に関するアンケート調査の結果を報告します。

多くの皆さまのご協力、ありがとうございました。ご報告が遅くなり申し訳ありませんでした。

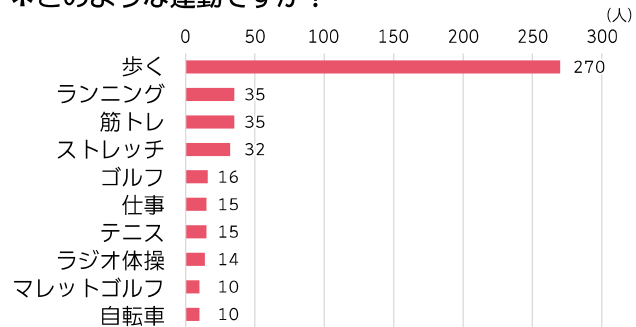
【送付数：3,223 回収数：2,626 回収率：81.5%】

◎運動習慣はありますか？（全年齢）

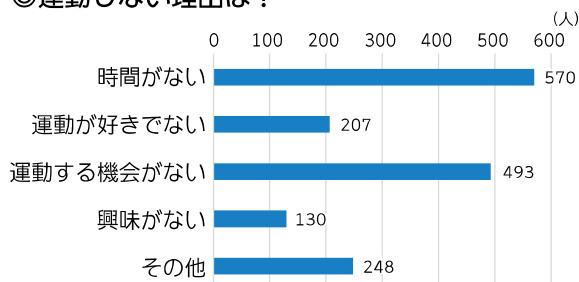
（1日30分以上の運動を週2回以上1年継続）



*どのような運動ですか？



◎運動しない理由は？

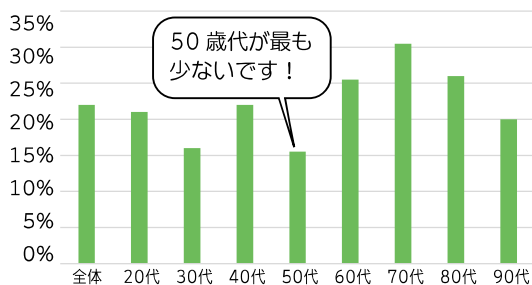


全住民で「運動習慣がある」と回答した方は22%でした。

運動習慣のある方の多くは「ウォーキング」をされているようです。

運動習慣のない方へ運動しない理由を聞いたところ「時間がない」と回答される方が一番多く、次に「運動する機会がない」と続きました。

◎運動習慣のある人（世代別）



運動習慣のある人を世代ごとで集計したところ、働き盛り世代（30～50代）の方が少ない結果となりました。

一方、運動習慣のある方の多い世代は高齢世代（60～80代）となりました。

運動習慣化のきっかけに、町のあげまつ体操やウォーキングアプリなどぜひ活用してみてください。



※情報掲載に同意を頂いた方のみ掲載しています。

三並 信子	中村 秀巳	原 利明	神田 安雄	稲垣 矩男	金城 高教
86歳	84歳	77歳	84歳	84歳	83歳
宮前	上瀬木	上町	東里2	西中	寝覚1

ごめいふくをお祈りします



二月
(敬称略)